

㈱西インターレストハウス 環境行動計画

取組方針

株式会社 西インターレストハウスは、当社の経営理念である『感謝・誠心・努力』をモットーに、お客様第一を基本理念とし、お客様と出合いのステージにおいて心のこもった温かみのあるサービスを提供しています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 料飲部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 23 年 2 月 21 日

株式会社 西インターレストハウス

代表取締役社長 山田 輝雄

3. 環境負荷低減目標及び具体的な取組内容

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、取組目標及び具体的な取組内容を設定して取り組むこととします。設定した取組目標と取組内容は、以下のとおりです。

【目標 1】二酸化炭素の総排出量を、22 年を基準として 24 年までに 2%削減する。

【具体的な取組内容】

（施設全体での取組）

① 設備（照明・空調・給排水）での省エネルギーに努める。

（事務所での取組）

① 室内温度を適温に設定する。（参考：冷房 28 度と暖房 21 度を目安にする。）

② 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。

③ 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。

④ ノー残業デーを設ける。

⑤ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。

⑥ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。

⑦ カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効果を高める。

⑧ エアコンの使用期間中は、毎月 1 回フィルターを清掃する。

⑨ エアコンを使用しない期間は、動力ブレーカーを切る。

⑩ 不使用時の消灯、パソコン・コピー機の電源 OFF を徹底する。

⑪ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

（車両での取組）

① エコドライブに取り組む。（停車時のアイドリングストップ、ふんわりアクセルに心がける）

② 車両の点検を定期的に行う。

③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。

④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【目標 2】廃棄物（一般及び産業廃棄物）の排出量を、22 年を基準として 24 年までに 2%削減する。

【具体的な取組内容】

① 廃棄物・リサイクル廃棄物の分別を徹底する。

② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。

③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。

④ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する

⑤ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。

- ⑥ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑦ 紙のリサイクルに努める。
- ⑧ 食品廃棄物の堆肥化、飼料化を進める。
- ⑨ 製品をできるだけ長期間使用する。

【目標3】コピー用紙の使用量を、22年を基準として24年までに2%削減する。

【具体的な取組内容】

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑤ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑥ コピーをする場合は、その必要性を十分吟味する。

【取組4】水の使用量を、22年を基準として24年までに2%削減する。

【具体的な取組内容】

- ① 水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 効率的な水の利用に取り組む。
- ③ 節水に努める。
- ④ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、総務部長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。